

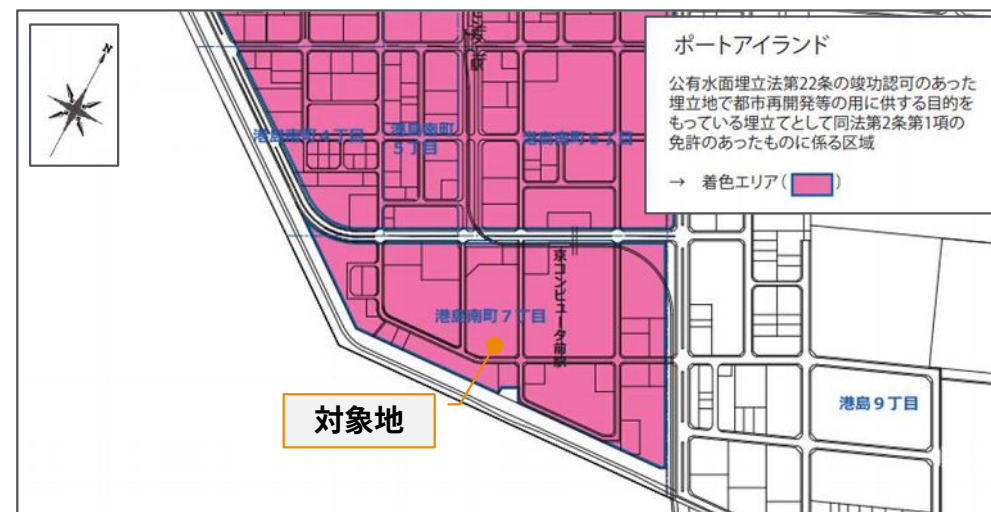
「富岳 NEXT」のための新建屋設計・施工・維持管理事業 事業概要（案）

2025年10月
理化学研究所

※本資料は現時点での内容であり、公募時に変更の可能性があります
※役所協議等は未実施の項目があり、計画時には改めてご確認いただく必要があります

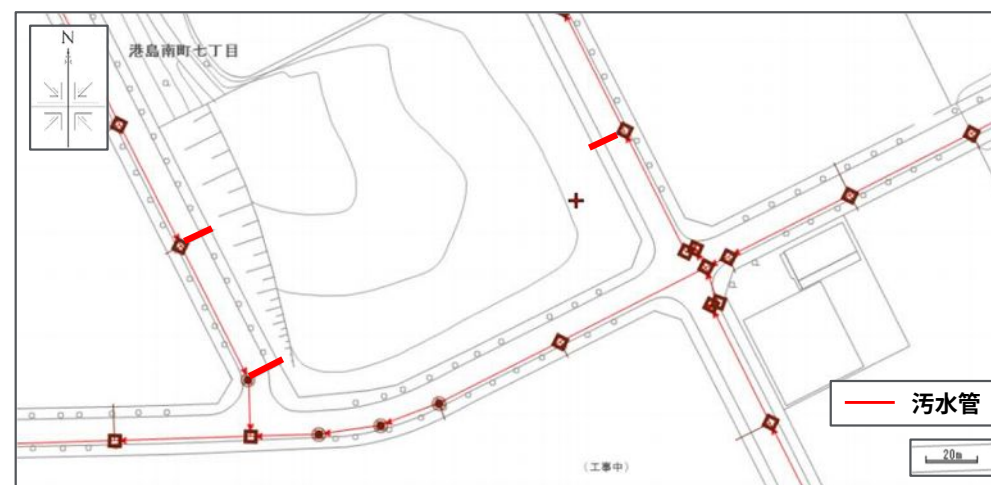
本事業の対象敷地（概要）は以下の通り

所在地	神戸市中央区港島南町7丁目1番1
地積	約10,000 m ²
土地所有者	神戸市
土地管理者	理化学研究所（神戸市より使用貸借）
区域区分	市街化区域
用途地域	準工業地域 ※計画建物は建築基準法上の「事務所」用途（データセンターも事務所扱い）と想定され、設置に係る用途地域上の制限は無し
建ぺい率/容積率	70%（指定60%+角地10%）／200%
高さ制限	道路斜線：適用距離 25m、勾配 1.5 隣地斜線：立ち上がり 31m + 勾配 2.5
日影規制	対象区域外 ※都市再開発等の用に供する目的で、公有水面埋立法の竣功認可があった埋立地（ポートアイランドの一部、六甲アイランドの一部、及び神戸空港島の一部）に該当するため
防火/準防火	建築基準法22条区域
高度地区	-



本事業の対象敷地（周辺状況）は以下の通り

接道	東側	市道 港島44号線 現況幅員：18.00 m 建築基準法第42条1項1号道路
	西側	市道 港島45号線 現況幅員：18.00 m 建築基準法第42条1項1号道路
	南側	市道 港島41号線 現況幅員：18.00 m 建築基準法第42条1項1号道路
下水道	下水：敷地東側・西側道路より接続 雨水：前面道路の側溝に接続	
ハザード	・ 洪水：該当なし ・ 土砂災害：該当なし ・ 高潮：該当なし	
測量・地盤調査	今年度実施予定	
埋蔵文化財	該当せず	



本事業の対象敷地（関連上位計画）は以下の通り

景観計画	眺望景観形成地域（ビーナステラス／区域①）
地区計画	ポートアイランド南地区地区計画
立地適正化計	「駅・主要バス停周辺居住区域」「山麓・郊外住居区域」から除く区域 - 広域型都市機能誘導区域（都市機能誘導区域）【都心】
その他	- 航空法(第49条)の高さ制限の確認が必要な地域 - 新都市整備事業区域：臨海部 ポートアイランド - 特別用途地域：大規模集客施設制限地区 - 神戸市建築物等における環境配慮の推進に関する条例 - 福祉のまちづくり条例（バリアフリー条例） - 開発許可申請（都市計画法29条） - 神戸市開発事業の方法及び基準に関する条例



出所：神戸市HP、神戸市企画調整局政策課「神戸市情報マップ」、グーグルマップ

現時点で想定される主な業務範囲は以下の通り

	本事業の対象業務範囲	備考
統括管理業務	理研との調整業務、全体マネジメント業務、文書管理業務	－
設計等業務 (土木・建築)	基本計画策定業務	事業コンセプト、導入機能、施設規模、施設配置の検討、地域住民等への協力を含む
	調査業務	理研で実施する敷地測量・地質調査以外に追加で必要となる調査は事業者負担とする
	基本設計業務	－
	実施設計業務	積算、各種申請届出、理研が行う国や近隣との調整等への協力を含む
建設業務（土木）	造成工事	現況測量図を開示予定
建設業務（建築）	建築工事	地質調査結果を開示予定
	外構工事	－
	機械設備・電気設備工事	特別高圧受変電設備（供給電圧70kV、50MW想定）の整備を含む
	什器・備品等調達設置業務	調達設置費も事業費に含む
工事監理業務	建設業務（土木・建築）に関する工事監理業務	－
維持管理業務	建築物保守管理業務	－
	建築設備保守管理業務	特に空調設備・熱源設備の保守が中心となる
	什器・備品等保守管理業務	－
	外構施設維持管理業務	－
	安全衛生管理業務	－
	その他上記に関連する業務	－

別途 理化学研究所にて実施する業務

- ・ 敷地測量（事業着手までに実施予定）
- ・ 地質調査（事業着手までに実施予定：2箇所）
- ・ 設備用電力引き込み（2025年11月着工、2029年8月受電開始予定）
- ・ HPCおよび周辺機器の設置・運転・維持管理
- ・ 建物及び敷地内の警備・清掃業務

現時点で想定される主要要求水準は以下の通り

分類		要求水準
建築	建物規模	延床面積5,000㎡程度
	構造形式	事業者の提案による
	構造安全性	「官庁施設の総合耐震計画基準及び同解説」に基づき、構造体についてはⅡ類、建築非構造部材についてはA類、建築設備については乙類として計画すること。
	環境性能	- 断熱性能は、各室の用途等に対応した十分な性能を有するものとする。 - 自然エネルギーの利用に努めること。 - 建築物全体の設備機器類の監視及び制御を行うため監視制御装置を設置すること。監視種目は電気設備、機械設備等とし、状態、警報、計測及び計量が行えること。
	内外装	- 華美なデザインとせず導入・メンテナンスコストを踏まえた外装材を採用すること。 - 内装、建具、各種機器、造作家具等の仕様は機能性と費用対効果を重視すること。
	災害対策	災害時において敷地外のインフラが途絶しない限り、敷地内ライフラインが維持できる備えとすること。災害時のインフラ途絶時にも72時間はライフラインの自立化を図るため、非常用の電源を確保すること。
設備	熱源・空調設備	- イニシャルコスト及びランニングコストに配慮した熱源方式の検討を行うこと。 - 計算機室に設置されるラックの冷却は水冷を主とすること。
	受変電設備	受託事業者が特別高圧受変電設備（供給電圧70kV、50MW想定）を整備することとし、低圧（100V、200V、415V等）への変圧設備については、可能な限り大きな容量を用いて、効率化すること。（2,000kVA×20台を想定している）
	計算機用電源	[HPC室] 3P4W 415V 60Hz で供給。合計で40MWの予定。 - 各計算機室に500A以上のMCCBを整備し、分電盤は計算機側で整備。 - UPS保護不要。発電機保護不要。 [ストレージ室] 3P4W 415V 60Hz で供給。合計で2MW - UPS,発電機とも N+ 1 の冗長とする。 - UPSにて停電時も供給を行う。リチウム電池とし、保護時間は15分とする。 - 発電機にて停電時も供給を行う。最大運転時間は72時間とする。
外構	動線・駐車場棟	検討中

現時点で想定される諸室は以下の通り

諸室	面積要件	要求水準
風除室	適宜	
エントランスホール	適宜	・外部見学者が滞留できるスペースを確保する。
計算機設備監視常駐室	200m ²	・計算機の維持管理のための人員の執務室
建屋設備保守常駐室	必要なサイズ	・建屋および施設運営・維持管理等の人員の執務室及び必要備品の設置・保管場所とする。
警備室（受付窓口）	適宜	・訪問者向けの受付を設ける。
警備員控室	適宜	・警備員の控室及び必要備品の設置・保管場所とする。
清掃員控室	適宜	・清掃員の控室及び必要備品の設置・保管場所とする。
会議室・打合せスペース	適宜	・職員の常駐を想定していないため劣後だが、視察対応のための室の必要性は検討中。
搬入口	適宜	・荷捌きを設ける
ゴミ庫	適宜	・建物全体の美観維持の観点及びゴミ回収の導線等を踏まえた場所に設けること。
計算機棟保守部品庫	100m ²	・計算機の維持管理に必要な保守用部品用保管倉庫
トイレ	適宜	
廊下	適宜	
見学通路	適宜	・HPC室の上部から見下ろして見学できる構造とする
HPC室	500m ² 4室 （消防による特例申請が不要な形態を想定）	・天井高 6 m程度とすること ・全室で500台程度のラックを配置できる空間とすること ・床の耐荷重は 3 t/m²以上を基本とする。（最低 2 t/m²以上とする） ・フリーアクセスフロアは実装しないが将来設置可能な構造とすること。 ・コスト縮小を優先するため、サーバー室内は無柱空間としなくてもよい。（価格低減のためビラーはあったほうがよい）
ストレージ室	500m ² 1室 （消防による特例申請が不要な形態を想定）	・天井高 6 m程度とすること ・50台程度のラックを配置できる空間とすること ・床の耐荷重は 3 t/m²以上を基本とする。（最低 2 t/m²以上とする） ・フリーアクセスフロアは実装しないが将来設置可能な構造とすること。 ・コスト縮小を優先するため、サーバー室内は無柱空間としなくてもよい。
機械室	適宜	
電気室	適宜	・キュービクル、発電機を設ける
屋上	－	・機器の設置を考慮した仕様とする。
合 計	5,000m ² 程度	

現時点で想定される事業者スケジュールは以下の通り

